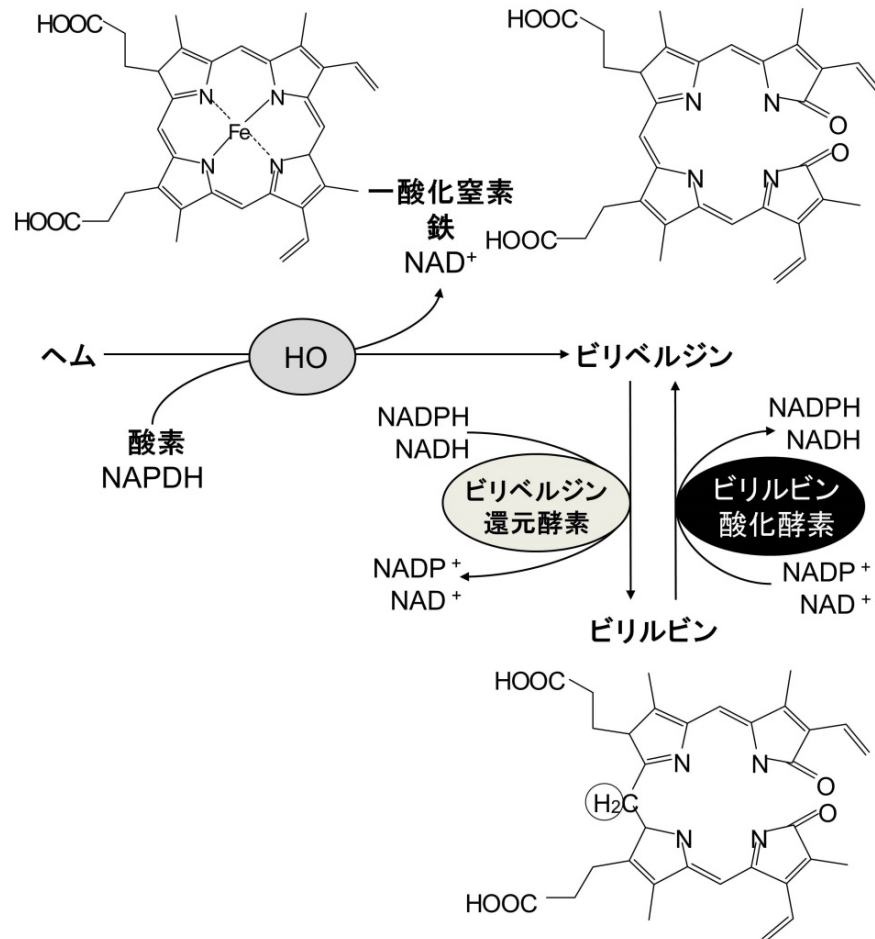


抗酸化蛋白ヘモキシゲナーゼ活性測定法開発



TOHOKU
UNIVERSITY



■ ヘムオキシゲナーゼの遺伝子発現は容易に測定可能であるが、その活性は遺伝子発現量と同様の変化を示さないことも多い。また、活性測定には多量の試料が必要であった

■ 小さな微量な試料からヘムオキシゲナーゼ活性を質量分析を用いて測定する方法を開発した

→近年、頻繁に用いられているマウスなどの活性測定が可能となり、研究の加速が期待できる

開発・推進

東北大学薬学研究科 臨床薬学分野

参考資料等

Iwamori S, Sato E, Sato H, Takahashi N. et al. A novel and sensitive assay for heme oxygenase activity. Am J Physiol Renal Physiol 2015 309(7):F667-71.